

交通遺児支援へ好ショット



大垣CCでチャリティーゴルフ大会

交通遺児を支援する第95回チャリティーゴルフ大会（大垣交通遺児育英会、岐阜新聞社、岐阜放送主催、大垣カントリー倶楽部、関ヶ原カントリークラブ協賛）が16日、揖斐川町北方の大垣カントリー倶楽部で開かれた。出場者たちは、交通事故で親を亡くした子どもたちの幸せや事故撲滅を願いながらプレーした。

107人、事故撲滅願いプレー



育英会は1969年に設立。奨学金事業のほか、クリスマス会など季節のイベ

上位入賞者ら＝同

ティッシュを放つ参加者＝揖斐川町
北方、大垣カントリー倶楽部

ントを催し、西濃地域の交通遺児を支える。ゴルフ大会は年2回開催し、参加費の一部や出場者からの善意を事業に役立てている。

今回は西濃地域の企業・団体から107人が出場。ダブルペリア方式で、松組（70歳以上）・梅組（女性）と、竹組（69歳以下）の2部門で競った。

表彰式では、育英会の堤俊彦理事長が「ぜひこれからも子どもたちのために支援をいただきたい」と呼びかけた。出場した森口祐子プロのあいさつに続き、鷲見進岐阜新聞社統合編集局長が、岐阜新聞岐阜放送社会事業団からの寄付金目録を堤理事長に手渡した。大垣共立銀行と大垣西濃信用金庫からの寄付への感謝状贈呈や、大垣竹の子会による鉢花のチャリティー販売もあった。

結果は次の通り。

▽松・梅組 ①秋田美代子
(H12・0、N71・0) ②大橋
則雄(H3・6、N71・4) ③
小野義明(H9・6、N71・4)
▽竹組 ①米澤由純(H12・0、
N70・0) ②古野克彦(H7・
2、N70・8) ③北野英樹(H
28・8、N71・2)